

Southeast Asian Studies

東南アジア研究

Vol.50 No.2

『東南アジア研究』は、1963年創刊以来、日本語及び英語により年4回刊行してまいりましたが、2012年度より、新たに英文誌 *Southeast Asian Studies* の刊行を開始したのに伴い、年2回（7月末日／1月末日）発行の和文誌として刊行いたします。

和文編集委員会

小 泉 順 子*
岡 本 正 明
甲 山 治
三重野 文 晴
片 岡 樹
設 楽 成 実**

Japanese Board of Editors

KOIZUMI Junko*
OKAMOTO Masaaki
KOZAN Osamu
MIENO Fumiharu
KATAOKA Tatsuki
SHITARA Narumi**

* editor **managing editor

COPYRIGHT © 2013 By Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University.

All Rights Reserved

ISSN 0563-8682

東南アジア研究

50巻2号

2013年1月

目次

タイにおけるミャンマー人移民労働者の実態と問題の構図 ——南タイ・ラノーンの事例から——	藤田幸一	(157)
	遠藤環, 岡本郁子 中西嘉宏, 山田美和	
東北タイにおける河川の流出特性と 伝統的灌漑の技術様式	星川圭介	(211)
先住民か不法入国労働者か? ——タイ山地民をめぐる議論が映し出す 新たなタイ社会像——	片岡樹	(239)
“解放”後のベトナムにおける宗教政策 ——カオダイ教を通して——	北澤直宏	(273)
書評論文		
アナキズムと反植民地主義的ナショナリズムの 対位的読解	土佐弘之	(303)
書評		
船津鶴代; 永井史男 (編). 『変わりゆく東南アジアの地方自治』 (アジ研選書28) アジア経済研究所, 2012, 275p.	松井和久	(309)
黄蘊. 『東南アジアの華人教団と扶鸞信仰——徳教の展開とネットワーク化』 東京: 風響社, 2011, 352p.	玉置充子	(311)
櫻永真佐夫. 『黒タイ年代記——「タイ・プー・サック」』 (叢書 知られざるアジアの言語文化 5) 東京: 雄山閣, 2011, 163p.	岡田雅志	(314)
床呂郁哉; 西井涼子; 福島康博 (編). 『東南アジアのイスラーム』 東京外国語大学出版会, 2012, 414p.	木下博子	(317)
飯國有佳子. 『現代ビルマにおける宗教的実践とジェンダー』 東京: 風響社, 2011, 316p.	小島敬裕	(319)
鈴木正崇. 『ミャオ族の歴史と文化の動態——中国南部山地民の想像力の変容』 東京: 風響社, 2012, 558p.	佐藤若菜	(322)
50巻総索引		(326)

JAPANESE JOURNAL OF SOUTHEAST ASIAN STUDIES

Vol. 50, No. 2

January 2013

CONTENTS

FUJITA Koichi ENDO Tamaki OKAMOTO Ikuko NAKANISHI Yoshihiro YAMADA Miwa	Labour and Livelihood of Myanmar Migrants in Ranong under the Current Legal Environments in Thailand(157)
HOSHIKAWA Keisuke	Runoff Characteristics and Traditional Irrigation in Northeast Thailand(211)
KATAOKA Tatsuki	Indigenous People or Illegal Migrant Laborers? Recent Debates over the Hill Tribes and Nationhood in Thailand(239)
KITAZAWA Naohiro	Religious Policy in Vietnam after the “Liberation” Era: Focusing on the Case of Caodaism(273)
Review Article TOSA Hiroyuki	Interpreting Anarchism and Anti-Colonial Nationalism Contrapuntally(303)
Book Reviews MATSUI Kazuhisa	Funatsu Tsuruyo and Nagai Fumio, eds. <i>Changing Local Government and Governance in Southeast Asia</i> . Chiba: Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization, 2012, 275p.(309)
TAMAKI Mitsuko	Yun Huang. <i>Chinese Religious Organization and the Belief of Spirit-writing in Southeast Asia: Development and Expansion of Dejiao</i> . Tokyo: Fukyosha, 2011, 352p.(311)
OKADA Masashi	Kashinaga Masao. <i>The Tai Dam Chronicle “Tay Pu Xoc.”</i> Tokyo: Yuzankaku, 2011, 163p.(314)
KINOSHITA Hiroko	Tokoro Ikuya, Nishii Ryoko, and Fukushima Yasuhiro, eds. <i>Islam in Southeast Asia</i> . Tokyo: Tokyo University of Foreign Studies Press, 2012, 414p.(317)
KOJIMA Takahiro	Iikuni Yukako. <i>Gender and Religious Practice in Contemporary Myanmar</i> . Tokyo: Fukyosha, 2011, 316p.(319)
SATO Wakana	Suzuki Masataka. <i>Dynamics of the History and Culture of Miao Ethnic Group: Transformation on the Power of Imagination in Mountain People in South China</i> . Tokyo: Fukyosha, 2012, 558p.(322)
Index to Vol. 50(326)

『東南アジア研究』日本語原稿投稿規程

- 1) 投稿原稿は、東南アジア地域研究に寄与するものとする。
- 2) 投稿原稿は、レフェリー制度を通じて掲載の可否が決定される。投稿原稿は原則として返却しない。
- 3) 原則として使用言語は日本語とする。特殊な文字ならびに記号の使用については編集室に相談のこと。常用漢字、現代かなづかいを用い8つ以内のキーワード（日英併記）と200語程度の英文要旨を付するものとする。
投稿原稿の長さは、注、引用文献を含め、400字詰め原稿用紙計算で80枚以内を原則とする。なお、上記には図・表・写真を含めないが、特に多数の場合は編集室に相談のこと。
書評は、約4,000字で執筆するものとする。
- 4) 投稿原稿は電子文書とし、e-mailまたは郵送で受け付ける。郵送の場合は、電子文書（フロッピーディスク、MOディスクまたはCDR）とともに印刷した原稿を添付すること。
図は、そのまま印刷可能なものに限る。コンピュータで図表を作成した場合は、別ファイルとすること。写真、付図、付表などには希望の挿入箇所、大きさを指定するものとする。
- 5) 掲載された論文等の著作権は原則として京都大学東南アジア研究所に帰属する。
- 6) 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。ただしカラーの写真や図（内容の理解に必要不可欠なものに限る）については実費を徴収する。別刷りを30部贈呈する。なお、それ以外にもあらかじめ注文があれば実費で製作する。
- 7) 参考文献表記法が当誌ホームページ (<http://kyoto-seas.org/ja/>) に掲げてあるので、投稿希望者は参照されたい。郵送を希望する場合は、編集室に請求のこと。
- 8) 投稿に関する連絡先は次の通り。
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46
京都大学東南アジア研究所編集室
Tel. 075-753-7344
Fax. 075-753-7356
e-mail: japanese-editorial@cseas.kyoto-u.ac.jp

東南アジア研究 50 巻 2 号

平成 25 年 1 月 31 日 発行

編集・発行者 京都大学東南アジア研究所
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46
印 刷 中西印刷株式会社
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

京都大学東南アジア研究所 CSEAS, Kyoto University, Kyoto Japan

50 卷 2 号

2013/1

タイにおけるミャンマー人移民労働者の実態と問題の構図

——南タイ・ラノーンの事例から—— …………… 藤 田 幸 一 他

東北タイにおける河川の流出特性と

伝統的灌漑の技術様式 …………… 星 川 圭 介

先住民か不法入国労働者か？

——タイ山地民をめぐる議論が映し出す

新たなタイ社会像—— …………… 片 岡 樹

“解放”後のベトナムにおける宗教政策

——カオダイ教を通して—— …………… 北 澤 直 宏

書評論文

アナキズムと反植民主義的ナショナリズムの

対位的読解 …………… 土 佐 弘 之

書 評

